

横河電機株式会社

2021年3月期 第1四半期 決算説明会

2020年8月12日

1. 2021年3月期 第1四半期 連結決算の概要と 通期業績予想 P. 3

取締役 専務執行役員 経営管理本部長 穴吹 淳一

2. 決算補足資料 P. 14

四半期別実績／営業外・特別損益／受注残高

研究開発費・減価償却費・設備投資／貸借対照表／株価の状況

3. Transformation 2020

-変革を実現し、さらなる成長発展へ- P. 22

代表取締役社長 奈良 寿

横河電機株式会社

2021年3月期 第1四半期 連結決算の概要と通期業績予想

取締役 専務執行役員 経営管理本部長
穴吹 淳一

■ 第1四半期実績：売上は減収、営業利益は前年並み

- ・ サマリー : 売上はCOVID-19や為替影響等により、減収
営業利益は粗利率の改善及び販管費の減少等により、前年並み
当期純利益は増益
- ・ セグメント別 : 制御 減収増益
(除・為替および子会社譲渡影響：受注17.3%減、売上4.8%減、営業利益8.5%増)
計測 増収減益
航機その他 減収減益
- ・ 地域別 : 全地域厳しい中で、受注は中南米、売上は中国が健闘
- ・ 業種別 : 昨年度の大口の反動およびCOVID-19の影響を受け、
エネルギー関連業種は厳しい状況

■ 通期業績予想：厳しい事業環境を考慮し、減収減益予想

- ・ 外部環境はいまだ不透明ながら、当第1四半期を底に、年度末に向けて「COVID-19感染拡大防止の取組み」と「経済活動再開への動き」がバランスを取りながら徐々に回復に向かうものの、大きな回復は見込めず、当社グループの業績にも影響を与えるという前提

■ 配当予想：前年と同額（年間配当金34円）を維持

決算サマリー（前年同期比）

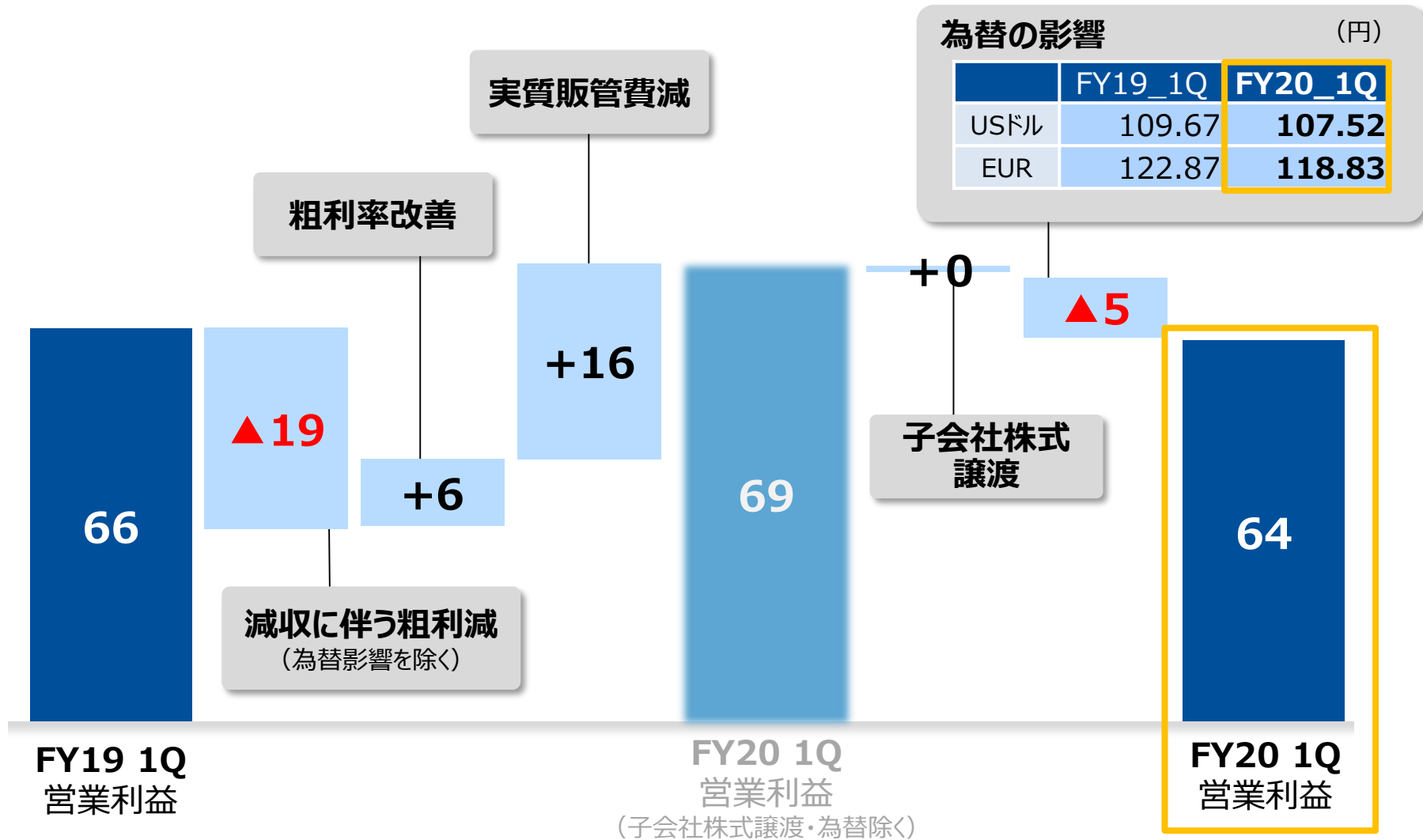
- ◆受注・売上 : 受注は**減少**（除・為替および子会社譲渡影響▲15.9%）
売上は**減少**（除・為替および子会社譲渡影響▲4.7%）
- ◆営業利益 : 粗利率の改善および販管費の減少により、**前年並み**
- ◆当期純利益 : 当期純利益は**増益**

（億円）

	FY19_1Q	FY20_1Q	差異	増減率	為替および 子会社譲渡影響
受注高	1,042	831	▲211	▲20.2%	▲47
売上高	903	820	▲83	▲9.2%	▲41
営業利益	66	64	▲2	▲2.2%	▲5
ROS(%)	7.3	7.8	+0.5pt	—	—
経常利益	68	72	+4	+6.1%	▲5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	30	+9	+42.1%	▲5
為替レート 1米ドル=	109.67円	107.52円	▲2.15円	—	—

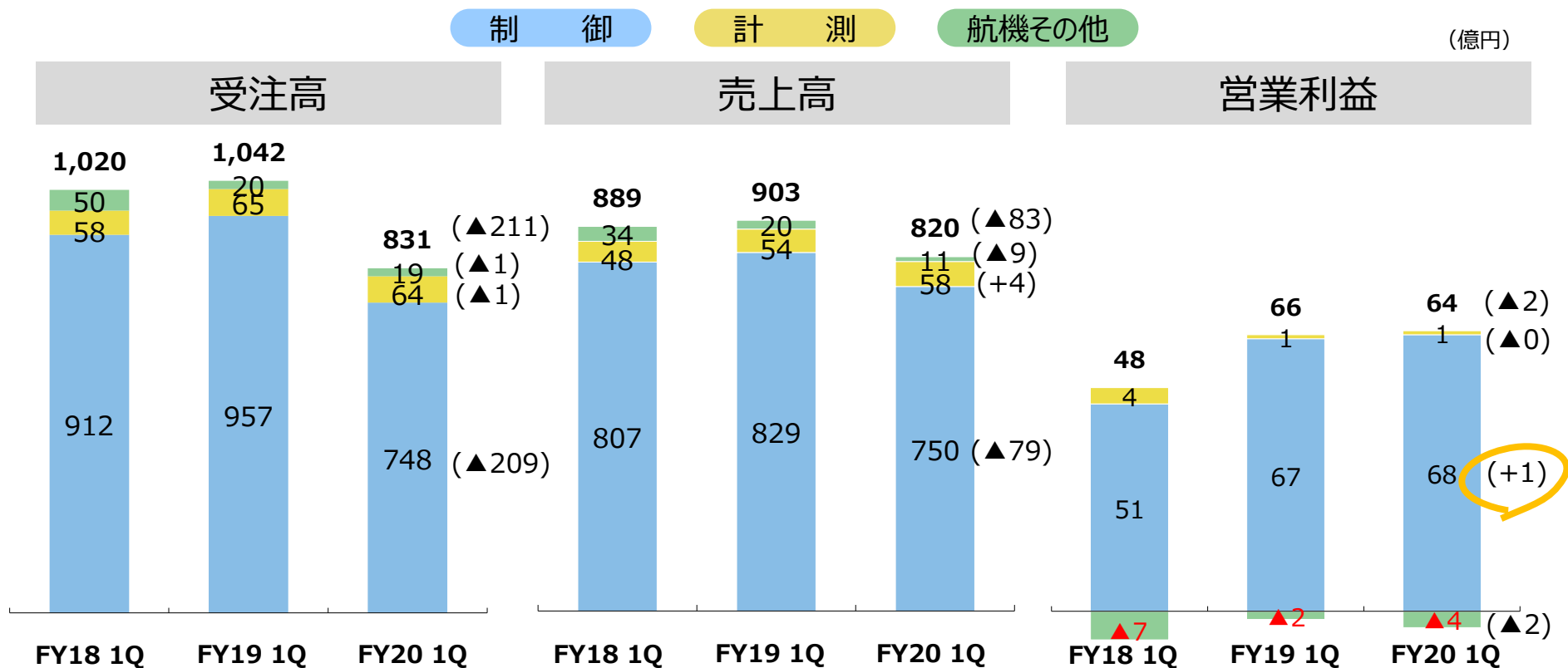
営業利益分析（前年同期比）

(億円)



セグメント別 受注・売上・営業利益

- ◆ 制御事業 : 受注・売上は、COVID-19や為替影響等により減少
(除・為替および子会社譲渡影響 : 受注▲17.3%、売上▲4.8%)
営業利益は、粗利率の改善及び販管費の減少などにより増益
(除・為替および子会社譲渡影響 : +6億円、+8.5%)
- ◆ 計測事業 : 売上は堅調だが、ライフイノベーション事業における先行投資の影響で、増収減益
- ◆ 航機その他事業 : 航空関連機器需要の低迷などにより、減収減益



制御地域別 受注・売上高

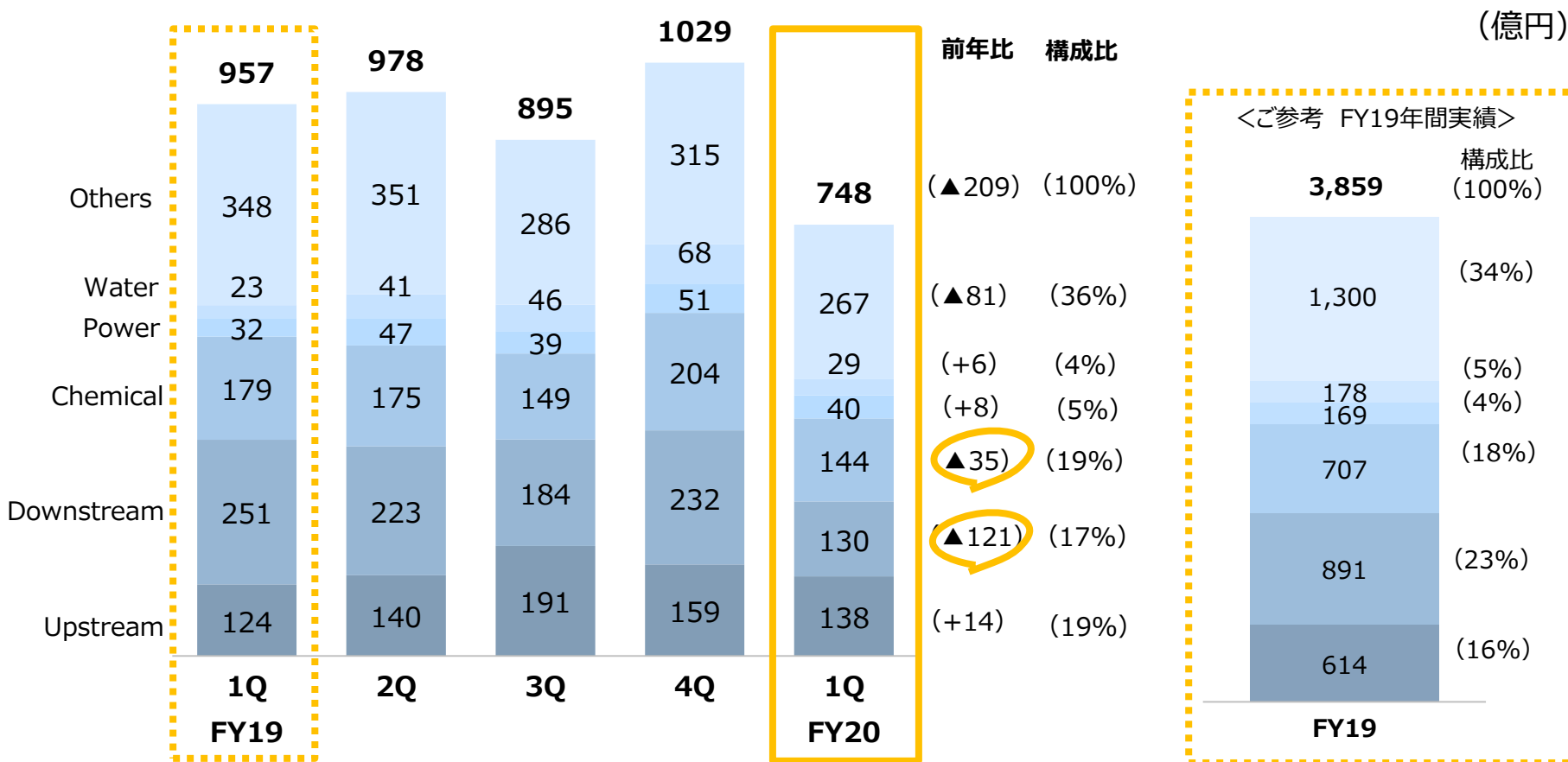
- ◆受注：COVID-19や為替影響等を受け減少したが、中南米は増加(除・為替および子会社譲渡影響：▲164億円、▲17.3%)
- ◆売上：COVID-19や為替影響等を受け減少したが、中国は健闘((除・為替および子会社譲渡影響：▲40億円、▲4.8%)

受注高	FY19_1Q (A)	FY20_1Q (B)	前年同期比 (B-A)
日本	276	218	▲58
アジア	315	270	▲45
(東南アジア・ 極東)	(153)	(142)	(▲11)
(中国)	(120)	(109)	(▲11)
(インド)	(42)	(19)	(▲23)
欧州・CIS	130	87	▲43
中東アフリカ	145	105	▲40
北米	68	38	▲30
中南米	23	30	+7
海外小計	681	530	▲151
合計	957	748	▲209
為替レート 1米ドル=	109.67円	107.52円	▲2.15円

売上高	FY19_1Q (A)	FY20_1Q (B)	前年同期比 (B-A)
日本	219	220	+1
アジア	271	255	▲16
(東南アジア・ 極東)	(151)	(133)	(▲18)
(中国)	(86)	(102)	(+16)
(インド)	(34)	(20)	(▲14)
欧州・CIS	120	101	▲19
中東アフリカ	125	89	▲36
北米	72	69	▲3
中南米	22	16	▲6
海外小計	610	530	▲80
合計	829	750	▲79
為替レート 1米ドル=	109.67円	107.52円	▲2.15円

制御業種別 受注高

◆ 昨年度の大口の反動およびCOVID-19の影響を受け、エネルギー関連業種は厳しい状況



FY20業績予想（前年比）

◆外部環境はいまだ不透明ながら、当第1四半期を底に、年度末に向けて「COVID-19感染拡大防止の取組み」と「経済活動再開への動き」がバランスを取りながら徐々に回復に向かうものの、大きな回復は見込めず、当社グループの業績にも影響を与えるという前提において、レンジにて予想

※FY20の原油価格は \$30～\$40/バレル 程度で推移と想定

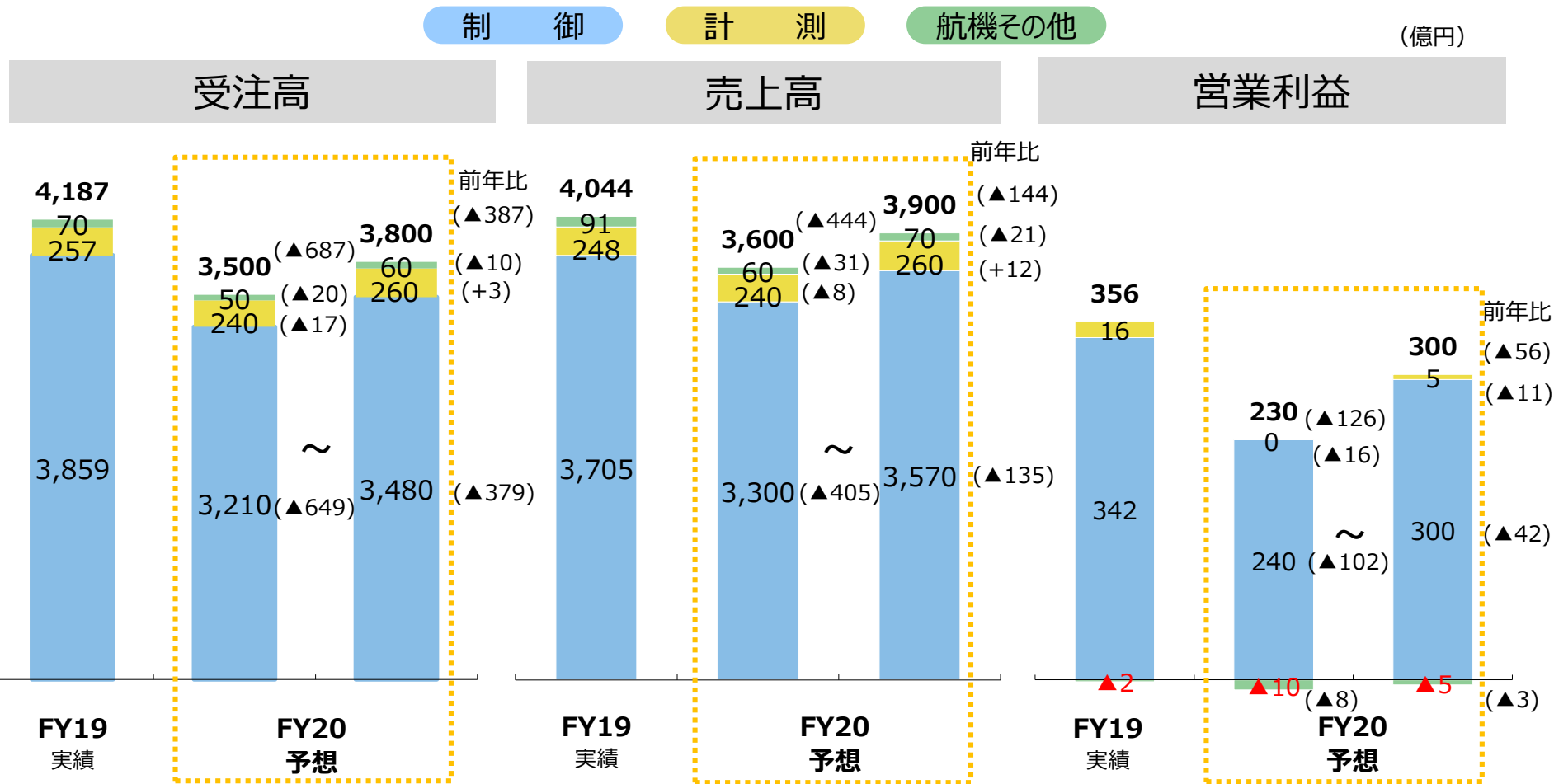
(億円)

	FY19実績 (A)	FY20予想(B)	前年比(B-A)	伸長率(B÷A-1)
受注高	4,187	3,500 ~ 3,800	▲687 ~ ▲387	▲16.4% ~ ▲9.2%
売上高	4,044	3,600 ~ 3,900	▲444 ~ ▲144	▲11.0% ~ ▲3.6%
営業利益	356	230 ~ 300	▲126 ~ ▲56	▲35.4% ~ ▲15.7%
ROS(%)	8.8	6.4 ~ 7.7	▲2.4pt ~ ▲1.1pt	-
経常利益	363	230 ~ 300	▲133 ~ ▲63	▲36.6% ~ ▲17.4%
税引前利益	258	220 ~ 290	▲38 ~ +32	▲14.7% ~ +12.4%
法人税等	111	80 ~ 100	▲31 ~ ▲11	▲27.9% ~ ▲9.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	147	140 ~ 190	▲7 ~ +43	▲4.7% ~ +29.4%
EPS(円)	55.02	52.45 ~ 71.18	▲2.57 ~ +16.16	▲4.7% ~ +29.3%
為替レート 1米ドル=	108.96円	105円	▲3.96円	-

FY20業績予想：セグメント別 FY20の見通し

		FY20 通期予想 (億円)	FY20の見通し
制御事業	受注高	3,210~3,480	<ul style="list-style-type: none"> ・システムプロジェクトは、エネルギー需要減少に伴う顧客の投資判断の遅れや価格競争激化が顕在化しており、主に海外のプロジェクトビジネスを中心に前年から大きく減少。国内は1Qを底に、経済活動再開に伴い回復に向かう。 ・プロダクトビジネスは、MROビジネスなどでは一定の引き合いを見せているが、海外の一部(北米、インドなど)ではCovid-19影響が顕在化。 ・コンサルティングビジネスは、移動制限の影響を強く受け、KBCを中心に厳しい状況が継続しているが、徐々に改善。 ・地域別には、中国・日本・中南米を除き、全体的にCOVID-19の影響を大きく受ける。
	売上高	3,300~3,570	<ul style="list-style-type: none"> ・期初受注残は豊富であるものの、受注減少の影響に加え、お客様・当社それぞれの様々な要因による受注済み契約の進捗遅れ等によるリスクが存在。
	営業利益	240~300	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客便大幅減少に伴う物流費の高騰、価格競争激化などによる粗利悪化リスクが存在。 ・グループ全体での徹底的な費用削減施策の実行（エンジニアリング、生産などの固定費は売上高減少に対応して削減。リモート対応やアフターコロナに向けた戦略的費用、IT投資などは継続。）
計測事業	受注高	240~260	<ul style="list-style-type: none"> ・測定器ビジネスは、中国においては堅調な引き合いが入っているものの、日本を含むその他の地域においては事業環境は悪化しており、受注高・売上高ともに減少する見通し。 ・ライフサイエンスビジネス（CSU：共焦点顕微鏡など）は堅調に推移する見通し。
	売上高	240~260	
	営業利益	0~5	—
航機その他事業	受注高	50~60	<ul style="list-style-type: none"> ・COVID-19影響により最終顧客である航空会社の業績が大きく悪化しており、航空機ビジネスが大きく減少する見通し。
	売上高	60~70	
	営業利益	▲10~▲5	—

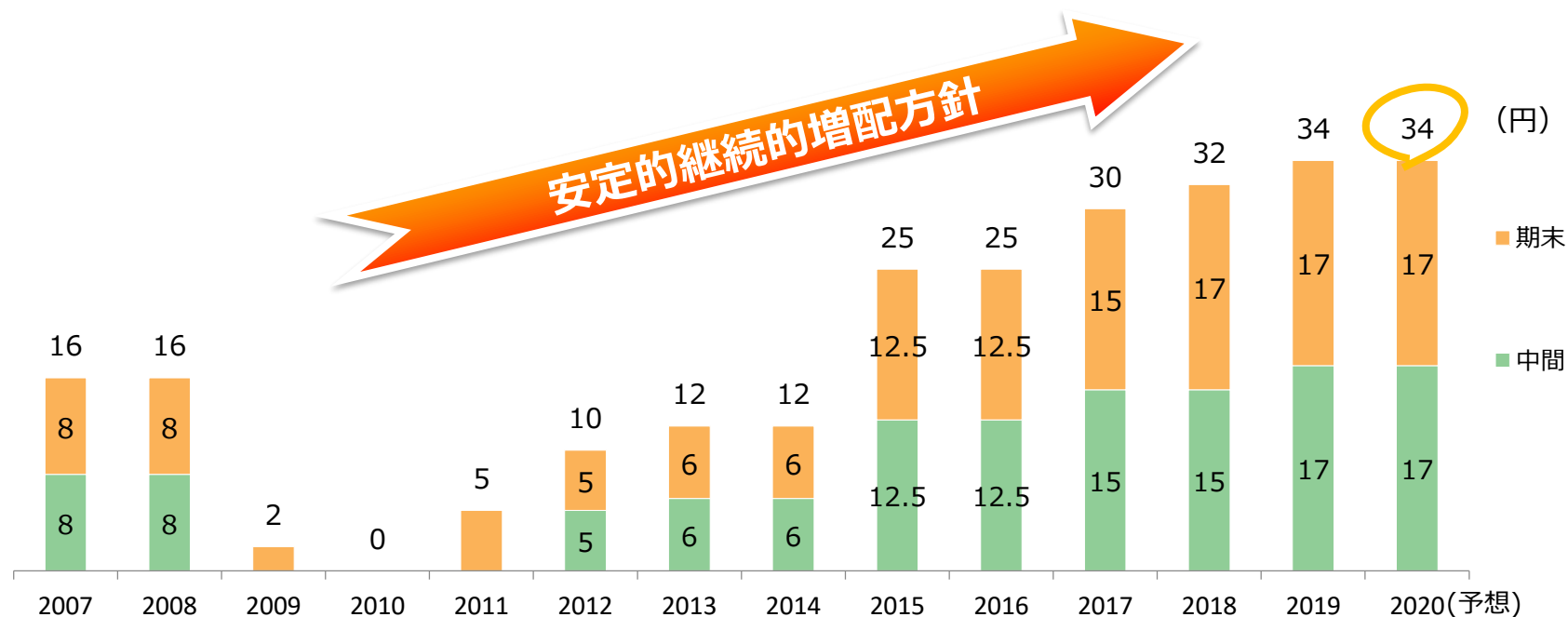
ご参考：セグメント別 受注・売上・営業利益（予想）



- ・配当方針及び財務状況を総合的に勘案し、FY20配当は前年と同額を維持

FY19 : 34円 (配当性向61.8%)

FY20 : 34円 (配当性向48.4~65.5%)



決算補足資料

- ・四半期別実績
- ・営業外・特別損益
- ・受注残推移
- ・研究開発費・減価償却費・設備投資
- ・貸借対照表
- ・株価の状況

補足：四半期別実績

◆売上高・営業利益は、日本の制御事業を中心に2Qおよび4Qに集中傾向

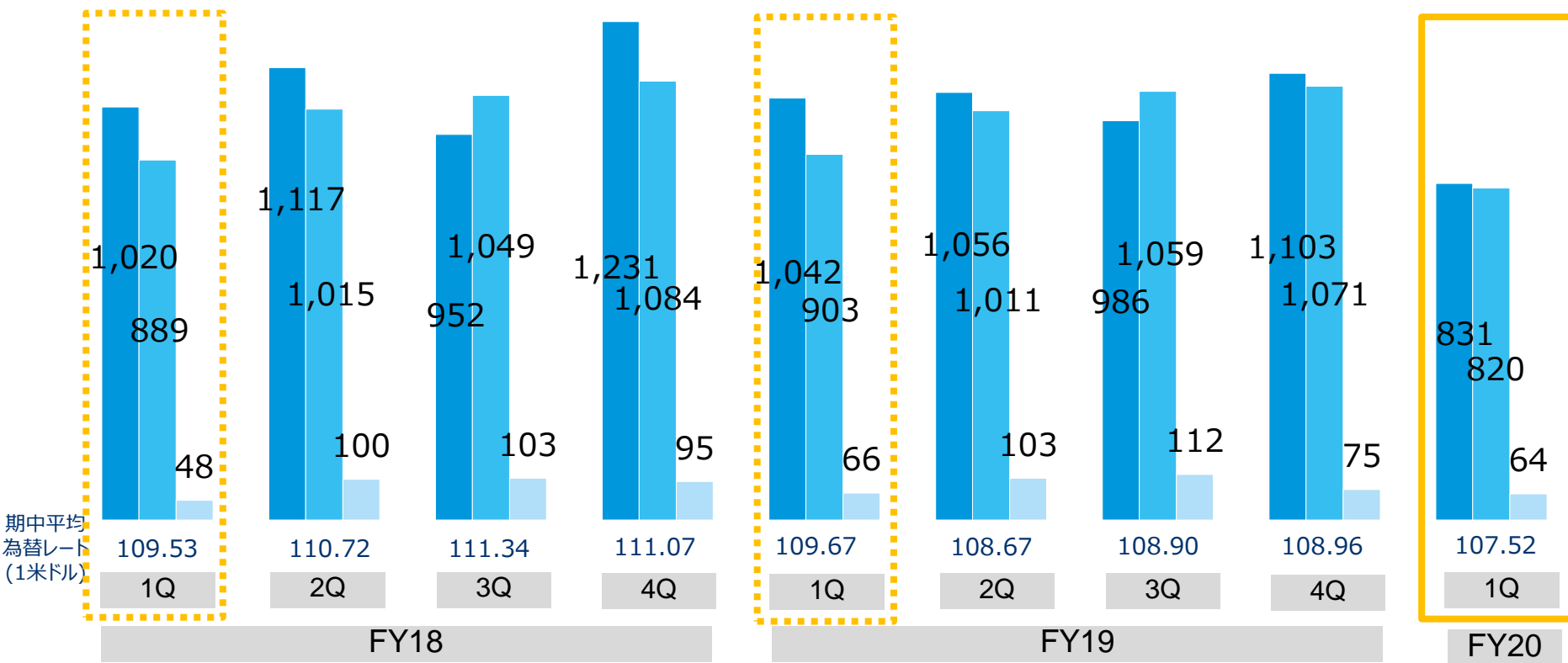
子会社譲渡の影響額

FY19 1Q 受注：▲11億円 売上：▲8億円 営業利益：+0億円

FY19 年間 受注：▲28億円 売上：▲20億円 営業利益：▲2億円

■ 受注 ■ 売上 ■ 営業利益

(億円)

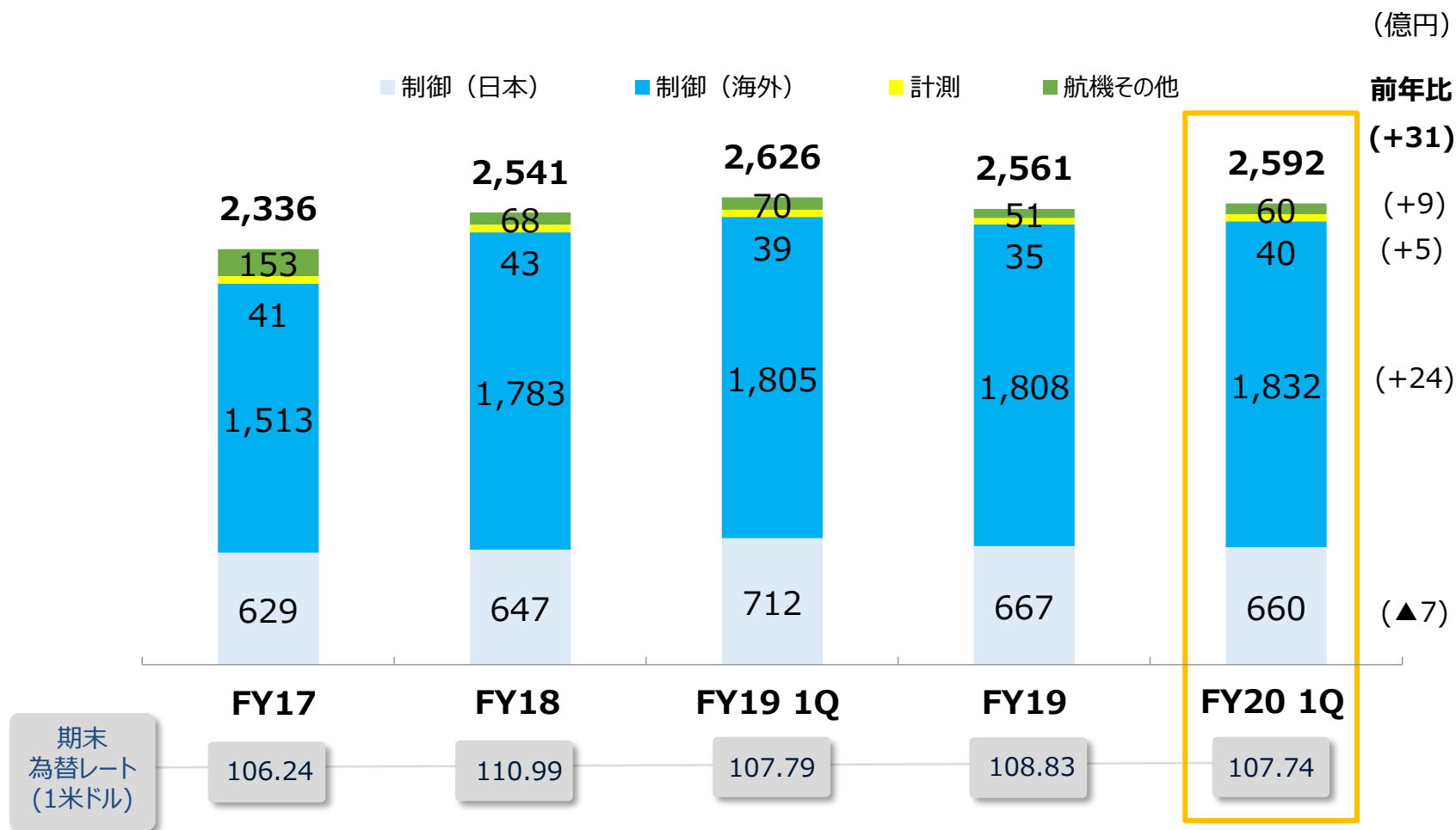


補足：営業外・特別損益

(億円)

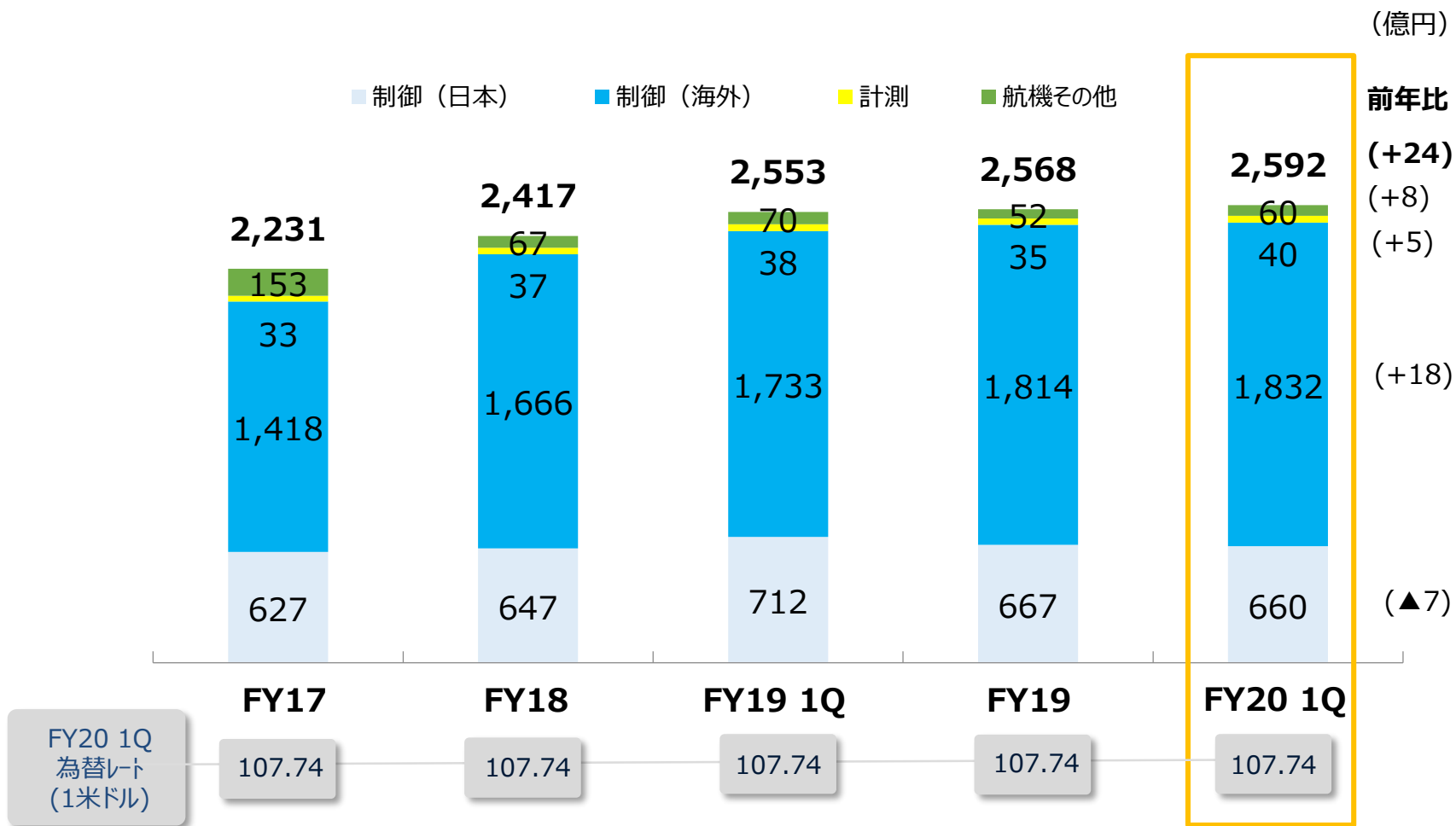
	FY19_1Q	FY20_1Q
営業利益	66	64
営業外収益	12	13
営業外費用	10	6
経常利益	68	72
特別利益	9	0
特別損失	32	9
税引前利益	45	63
法人税等	24	33
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	30
(税負担率)	45.3%	45.6%

補足：セグメント別 受注残推移



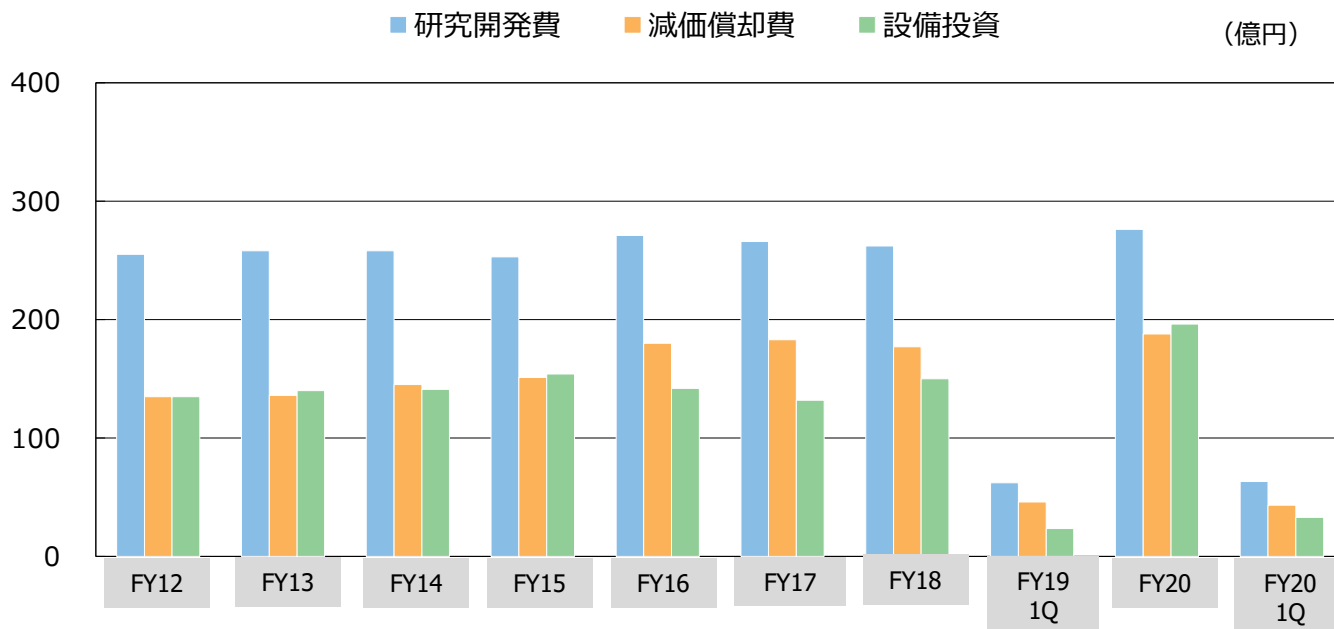
*セグメント区分を精緻化し、FY19の数字を見直しました

補足：セグメント別 受注残推移 * FY20 1Q期末為替レート換算



*セグメント区分を精緻化し、FY19の数字を見直しました

補足：研究開発費・減価償却費・設備投資



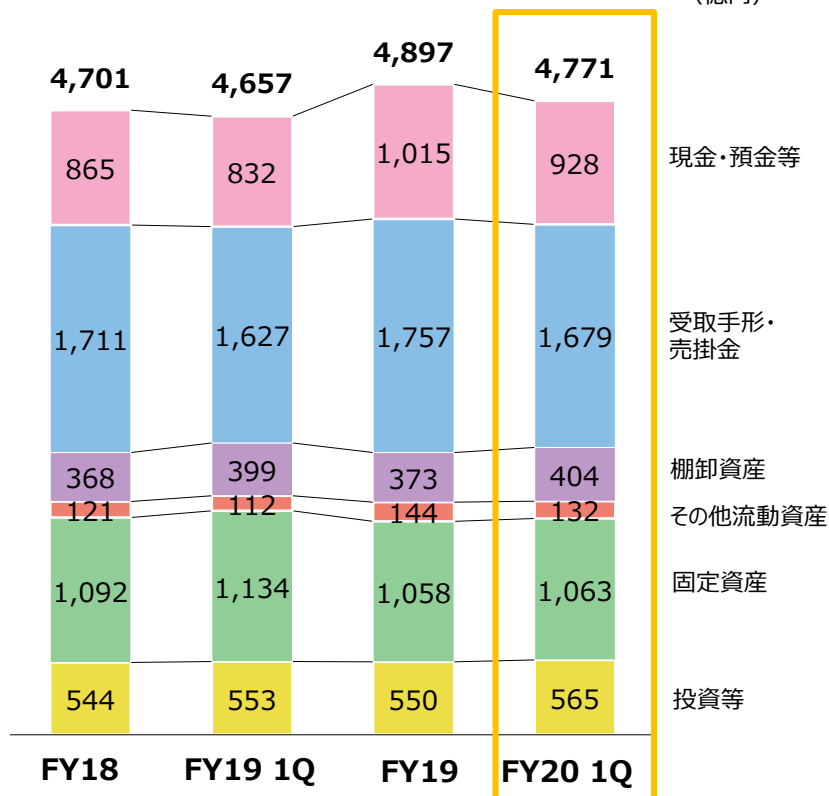
	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19 1Q	FY19	FY20_1Q
研究開発費 (対売上高比率)	255 7.3%	258 6.6%	258 6.4%	253 6.1%	271 6.9%	266 6.5%	262 6.5%	62 6.9%	276 6.8%	63 7.6%
減価償却費 (対売上高比率)	135 3.9%	136 3.5%	145 3.6%	151 3.6%	180 4.6%	183 4.5%	177 4.4%	46 5.1%	188 4.6%	43 5.3%
設備投資 (対売上高比率)	135 3.9%	140 3.6%	141 3.5%	154 3.7%	142 3.6%	132 3.2%	150 3.7%	* 24 2.6%	196 4.9%	33 4.0%

*FY19よりIFRS第16号 (リース) を適用

補足：貸借対照表

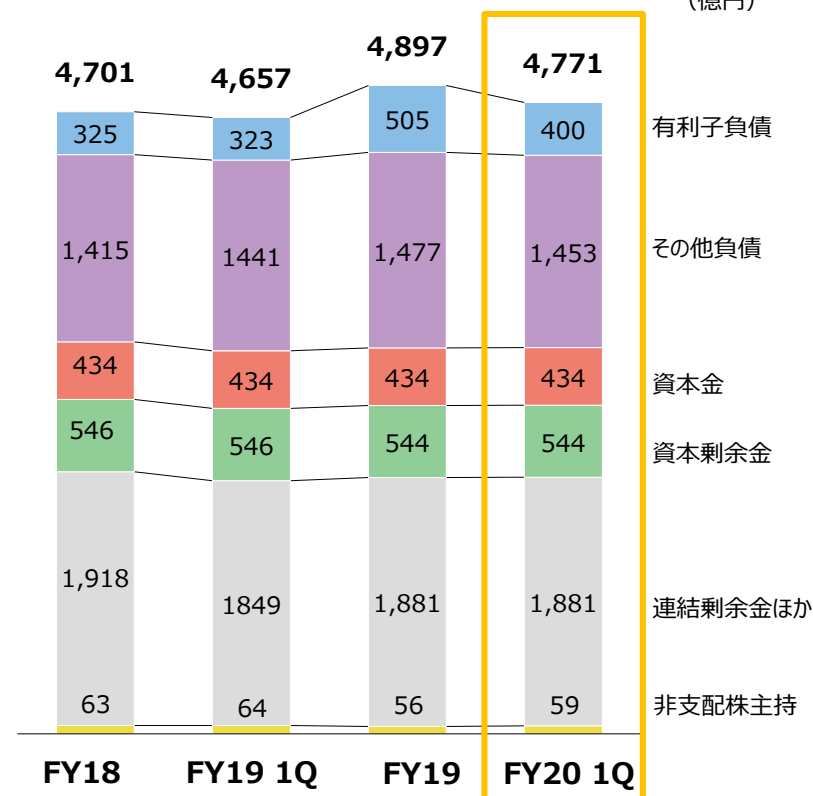
資産

(億円)

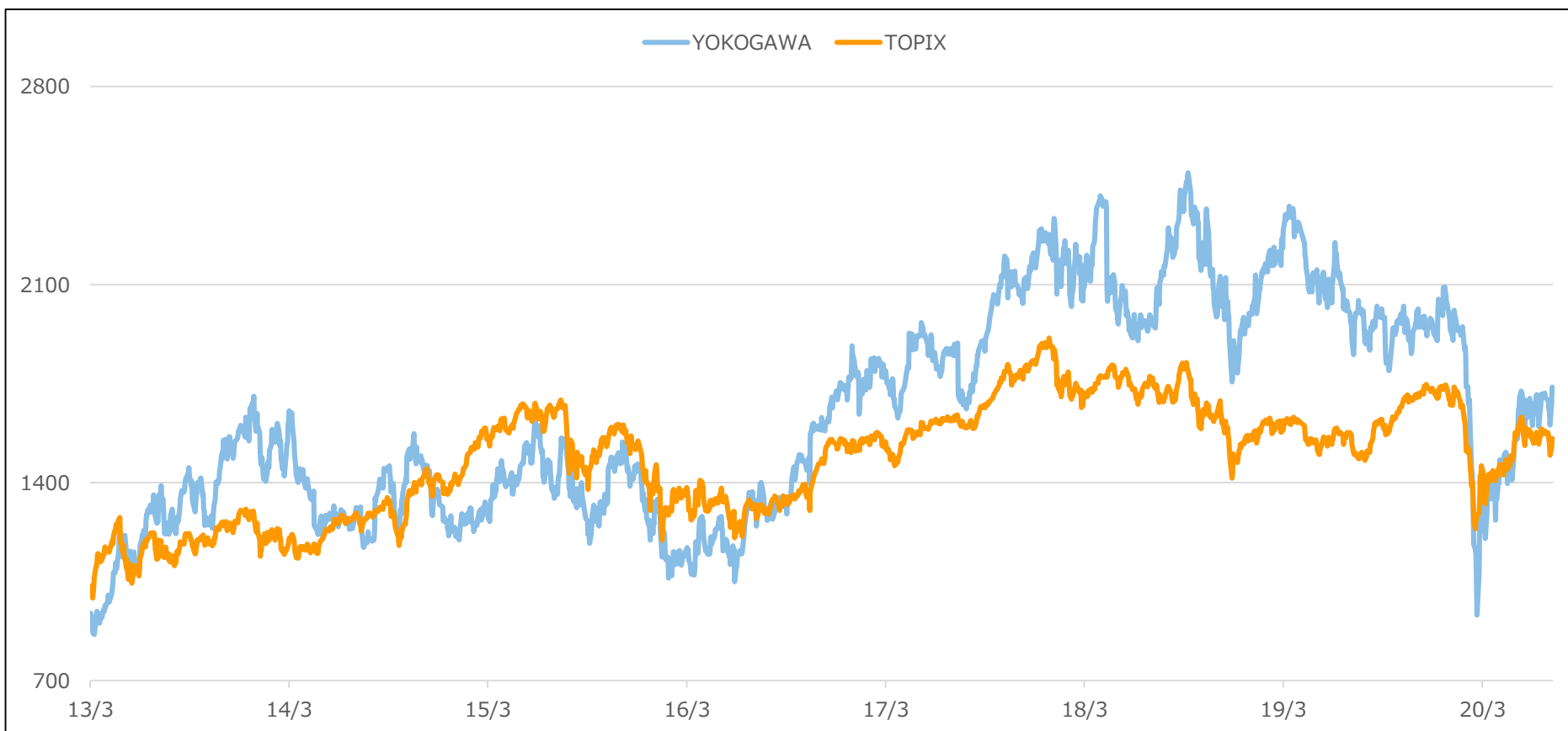


負債・資本

(億円)



補足：株価の状況



(円)

	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/8/5
Yokogawa	946	1,667	1,295	1,163	1,752	2,198	2,291	2,112	1,977	1,929	1,303	1,680	1,730
TOPIX	1,035	1,203	1,543	1,347	1,512	1,716	1,592	1,551	1,588	1,721	1,403	1,559	1,555

横河電機株式会社

2021年3月期 第1四半期 決算説明会

Transformation 2020

～変革を実現し、さらなる成長発展へ～

代表取締役社長
奈良 寿

◆以下のアクションプランを含め、TF2020の加速(施策の完遂と効果の刈り取り)に注力する

① TF2020施策の優先順位の設定および見直し

② グループ全体最適に向けたさらなるコスト削減

・ 不急の費用執行禁止

・ リモートワークなど働き方の変化を含む費用最適化 など

③ 強靱な財務力の堅持

④ COVID-19後の社会を見据えた構えの構築

・ 社会ニーズの変化への対応

安全安心、セキュリティ、生産性向上、最適化向上、遠隔化、自律化 (IA2IA) が促進される社会や産業への要求が拡大

COVID-19の影響：遠隔化（リモート需要）の急拡大

- ◆背景：感染対策の一つとしてプラント運営の見直し
→遠隔から工場の設備の運転、保守を支援する
「リモート需要」がさらに拡大

◆当社の取り組み



レスポンスセンター

AR(拡張現実)を活用したリモートサービス

ExRoboticsのExR-1 点検作業ロボット

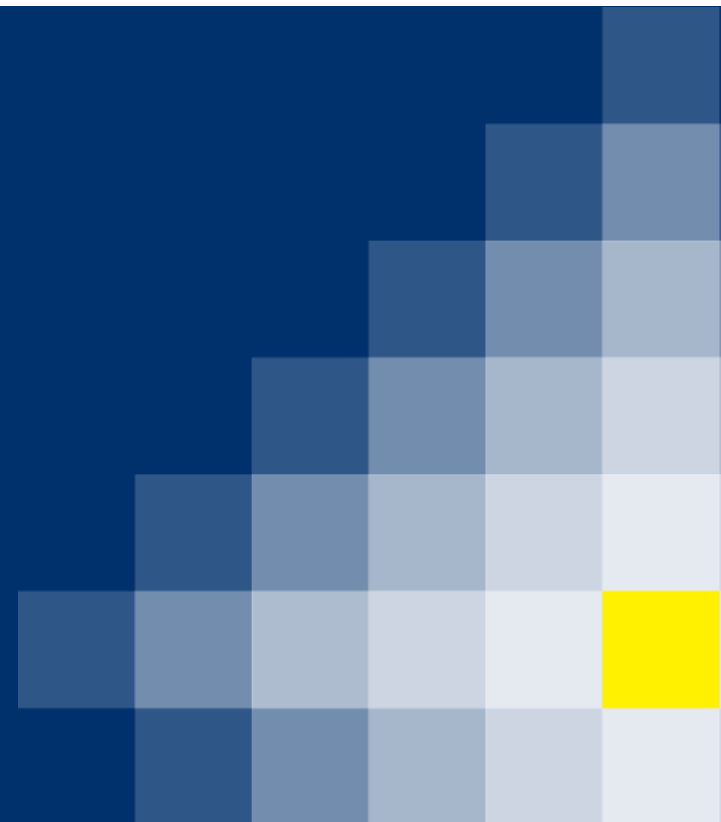
- ① **Webinar、Virtual Exhibitionなどの機会増加**
→リモートメンテナンスサービスの引合い件数は約2倍（前年同期比）
- ② **リモートソリューションの充実**
→クラウドエンジニアリング、リモートFAT*、リモートサービス（Security Risk Assessmentコンサルティングなど）

*Factory Acceptance Test 工場受入試験

- ・**僻地/遠隔地など困難な現場で力を発揮する当社の強みが、お客様の生産性向上に貢献（=社会課題の解決）**
- ・**信頼の蓄積で遠隔化、自律化（IA2IA）の世界をリード**

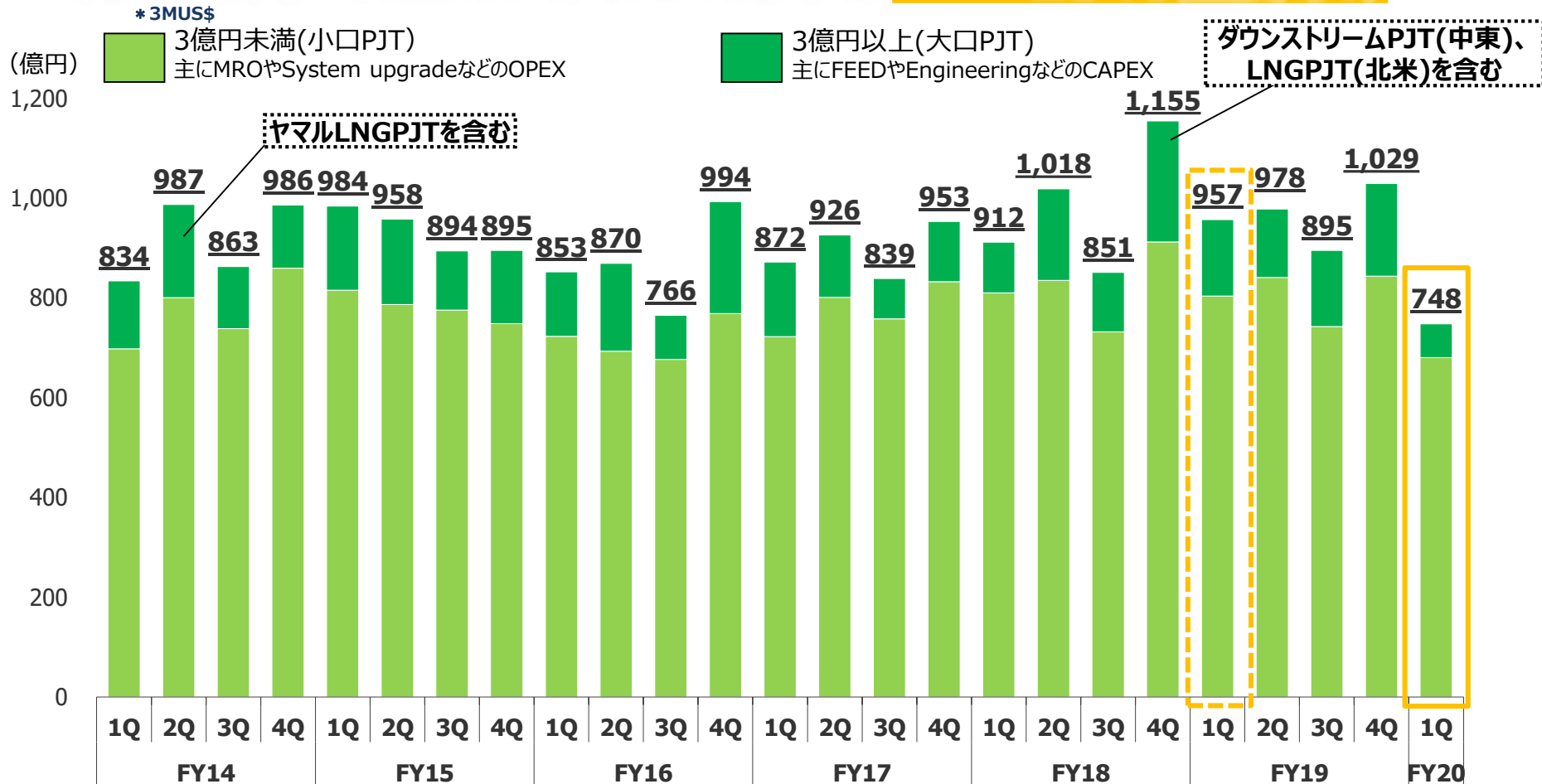
- YOKOGAWAはCOVID-19を乗り越える
強靱な力を持つレジリエントカンパニー
- YOKOGAWAの事業は、COVID-19後に
拡大するビジネス領域の中心にいる
- YOKOGAWAの目指す方向は、
持続可能な社会の実現と
新たな成長機会の創出

Co-innovating tomorrow™



ご参考：制御ビジネス金額別受注推移

約3億円*以上の大口PJT比率は10~15%程度のみ



	FY14				FY15				FY16				FY17				FY18				FY19				FY20
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
USD	101.71	103.53	107.7	110.58	121.78	121.75	121.63	119.99	108.53	102.91	107.64	108.95	111.42	111.29	111.77	110.7	109.53	110.72	111.34	111.07	109.67	108.67	108.9	108.96	107.52

ご参考：トピックス (5/13～8/12)

5月 医薬品工場向け製造管理パッケージ「CIMVisionPharms R10.00」を開発・発売 (日本国内のみ)
～システム導入・更新期間の短縮と、法規制の変更にも迅速でスムーズな対応を支援～

画期的なケミカルリサイクル技術をもつ日本環境設計に資本参加と業務提携契約の締結
～資源循環の社会に向けて協業～

6月 宇宙空間での生命科学分野の実験に向けて、共焦点スキャナユニット「CSU-W1」が
国際宇宙ステーションに到着

サウジアラビアに新設される大規模給水パイプライン設備向け監視システムを受注
経済産業省認定2020年版グローバルニッチトップ企業100選に選定

7月 スタートアップ企業とのオープンイノベーションでインドにおける事業拡大を加速
～日印ファンド・オブ・ファンズに出資～

バイオ事業の拠点としてスイスに「ヨコガワ・イノベーション・スイス」を設立
～バイオエコノミー関連の研究開発と市場開拓活動を加速～

※日付は発表月です

ご参考：YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

2020年7月現在

DJSI-Asia Pacific
FTSE4Good Index Series
FTSE Blossom Japan Index
MSCI ESG Ratings AA
MSCI ESG Leaders Indexes
MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数
MSCI 日本株 女性活躍指数
CDPウォーターセキュリティAリスト
CDPサプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード
SNAMサステナビリティ・インデックス
S&P/JPXカーボンエフィシエント指数

MEMBER OF

**Dow Jones
Sustainability Indices**



In collaboration with a RobecoSAM brand



**MSCI
ESG RATINGS**



CCC B BB BBB A AA AAA

FTSE4Good FTSE Blossom
Japan

2020 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

THE INCLUSION OF YOKOGAWA ELECTRIC CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF YOKOGAWA ELECTRIC CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES.
THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

また、本資料には企業連結に係る暫定的な会計処理の確定および税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴う過年度遡及修正を反映しておりません。(決算短信とは軽微な相違があります)

横河電機株式会社

財務・IR部 IR課

Email : Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com

TEL : 0422-52-6845

URL : <https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>